



重点項目 評価結果

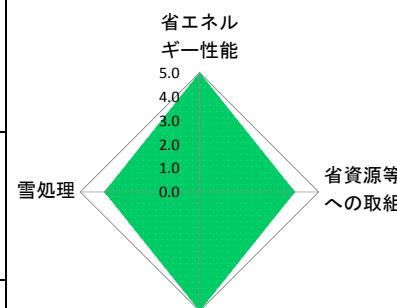
■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要

建物名称	クリオ円山裏参道	BEE	1.7	BEEランク	A
建物用途	集合住宅				
延床面積	3,976.24 m ²			総合評価	★★★★★

2 重点項目への取り組み



3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー				合計 22点 / 24点
Q1 溫熱環境	スコア 0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0	
Q1 光・視環境	スコア 5.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 10.0	
		LR1 効率的運用	スコア 2.0	
B 省資源等				合計 16点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 2.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア 3.0	
C 緑化				合計 10点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理				合計 2点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー

- 低炭素建築物新築等計画認定を取得し、日本住宅性能表示基準の一次エネルギー消費量等級5を満たす程、省エネルギー対策を充実させている。
- 効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。

B 省資源等

- 乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別を比較的容易にしている。
- ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。
- 地球温暖化対策の取組みによりLCCCO₂排出率が68%となっている。

C 緑化

- 基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある常緑針葉樹を用い、冬の緑量確保に配慮している。
- 屋外駐車場の周囲や角部に奥行きのある植栽帯を設けて、美観に配慮している。

D 雪処理

- 十分なゴミステーションスペースを確保している。
- 敷地内及び一部歩道をロードヒーティングとし、冬期間の除排雪作業の軽減に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される